

# 農家のための勉強会

## 『作物を組み立てる視点』

信州ぶ組 総合勉強会 第二部

～作物編～

### 内容

- ① 作物の歩みを活かす農業生物学
- ② 作物の生理生態の基礎知識
- ③ 農地を生態系として捉え活かす技術
- ④ 微生物を味方につける技術



【日時】 2019年2月26日(火)10:00～17:00

【場所】 ゆいわーく茅野 3F (長野県茅野市塚原二丁目5番45号)

諏訪南ICから車で約10分、JR茅野駅から徒歩約10分  
飲食可能。当日はお弁当の持参か近くの飲食店をご利用ください。

【参加費】 4,000円(ご夫婦は1組で4,000円)  
研修生、学生 2,000円

【参加申込み】 ※要予約

2月24日(日)までに 次の内容を明記の上、メールにてお申込みください

・お名前、ご住所、携帯電話番号、メール、栽培品目、経験年数

お申込み先: [e73u58@bma.biglobe.ne.jp](mailto:e73u58@bma.biglobe.ne.jp)

【お問い合わせ】

事務局: 信州ぶ組 池淵携帯: 080-6302-2432

【主催】 信州ぶ組



## 講師：石綿薫

1971年茨城県生まれ。東京農工大学卒。大学院卒業後、1996年～2001年種苗会社の農場でトマト等の育種を担当。2002年～2014年(公財)自然農法国際研究開発センター勤務。研究員として有機栽培向け品種の開発や農薬を使わない病害虫防除の研究、研修生の指導に携わる。2015年4月に就農。現在は松本市波田で施設トマト16aを中心とした栽培、経営を行っている。幅広い知識のもと、独自の視点を加えた作物の捉え方は、農法を越えたすべての農業者に通じる考え方として定評がある。趣味は料理。



## 信州ぷ組

信州ぷ組は、新規就農者による新規就農支援団体です。新規就農した農業者同士が、農業技術や経営、情報活用技術、地域農業や国内外の情勢などについて、ともに学び、会員相互の情報を共有し、各自の技術向上と経営安定、地域社会の活性化に貢献することを目的に活動している非営利団体です。

信州ぷ組の「ぷ」はプロジェクトの「ぷ」です。

長野県の新規就農支援制度として創設された「新規就農者プロジェクト研修」(現在は新規就農里親研修制度および里親前基礎研修に引き継がれている)の研修同期生が、修了に伴って農業技術の勉強会を自主的に開催する取り組みを始め、平成16年1月に定例勉強会「ぷ組土の会」を発足させました。

さまざまな勉強会を開催するうちにできた人のつながりを活かすため、平成21年4月10日に「土の会」その他の取り組みを内包する「信州ぷ組」が誕生しました。

## 総合勉強会

作物を育てる土台となる植物整理や土壌環境を把握する基本となる視点を学び、日々の作物の観察や栽培管理を通して作目やその田畑の特徴を理解し、各自の営農環境や目指す方向に合わせた栽培技術を組立てられるようになることを目的とした勉強会です。